

たのはた

復興へのご支援に心から感謝します

ありがとう 田野畑分署庁舎

村民の生命財産を

守った40年に幕



2015
No. 575

2

主な内容

- 村中央防災センター完成 …………… 2ページ
- 村・県民税の申告受付 …………… 4ページ
- 村教育のつどい開催 …………… 6ページ
- 村議会だより…………… 12ページ

昭和50年4月から地域防災の拠点として、火災や救急活動、東日本大震災での災害対応に活用されてきた宮古消防署田野畑分署庁舎が1月16日閉署しました。(関連記事2～3ページ)



有事に備えて浴室（左）や食堂（右）、仮眠室なども用意



事務所は地域防災の要として24時間体制で活動します



会議室は村消防団の会議の他、防災教育にも活用



遠隔操作室（左）は今春運用開始予定。放送設備（右）も充実



地域防災・災害対応の拠点施設として 村中央防災センターが完成

菅窪地区の旧岩泉高校田野畑校グラウンド跡地に完成した村中央防災センター

村民の命を守る拠点として、職員一同新たな気持ちで職務にあたります。大会議室や宿直機能、食堂なども充実し、自家発電設備も備えているので有事の際には、災害対応拠点施設として万全を期してまいります。



宮古消防署田野畑分署
しげみつ 佐々木重光 分署長

防災、災害対応の中枢を担う村消防団にとって、防災拠点施設の整備は各分団との連絡、水門の遠隔操作など災害時の連携に大きく寄与することとされています。広い会議室を備えるなど、今まで以上に消防団員の連携の要としての役割に期待します。



田野畑村消防団
やすゆき 畠山保幸 団長

村防災関係者 期待の声



昨年の消防操法競技会県大会で団史上最高位の6位入賞を果たした2分団は威風堂々と分列行進を行いました

地域防災の気持ち新たに 消防出初め式を開催

村消防団（畠山保幸団長）の消防出初め式が1月11日、田野畑中学校を主会場に開催されました。好天の中、団員と女性消防協力隊の146人が参加しました。統監の石原弘村長は「昨年は団史上最長の611日の無火災を記録した一方、年末に2件の住宅火災が相次ぎ、1件では犠牲者も出ました。いま一度、消防団、消防署の連携を密にし、安心・安全な村づくりを推進したい」と訓示しました。団員は、菅窪地区の国道45号で分列行進し、息の合った動きで沿道に集まった住民に火消しの心意気を示していました。

津波防災などの設備が充実

村が国の復興交付金により平成25年度から整備を進めていた田野畑村中央防災センターが1月16日から供用開始となりました。

菅窪地区に建設した同センターは、総事業費3億1241万円、鉄骨造2階建、建築面積736.14㎡。防災行政無線や消防救急無線などの通信設備、非常用発電設備などを備え、防災と災害の拠点施設として機能します。

津波対策では、水門を遠隔操作で開閉する水門等遠隔操作設備を整備。島の沢水門は今春から運用を開始するほか、平井賀と島越の水門も順次整備します。また沿岸地区に固定カメラを設置し、津波防災対策に万全を期します。

センター2階の会議室は、役場庁舎が被災した際に災害対策本部が置かれるほか、村消防団の会議や住民を対象とした防災教育の場にも利用することができます。村では、今後も同センターを防災活動の拠点施設として整備を進めます。来年度はセンター南側に防災資機材の備蓄倉庫を建設する計画があるほか、将来的にはヘリポートの整備も検討しています。防災ヘリやドクターヘリの受け入れのほか、有事の際は自衛隊などの野営受け入れに対応できるように環境を整えていく予定です。

◆住所など：田野畑村菅窪43番地4
(☎34-21110)

2月6日(金)から3月13日(金)まで

村・県民税の申告を受け付けます

平成26年分所得税、平成27年度村・県民税（国民健康保険税）の申告受け付けを2月6日(金)から3月13日(金)まで行います。申告を忘れると、各種税証明書が発行できなくなったり、国民健康保険税などの軽減判定が正しくできなくなったりなど、さまざまな問題が起ることがあります。忘れずに申告をしてください。



申告が必要な人

平成27年1月1日現在、田野畑村に住所がある人は村・県民税の申告書を提出しなければなりません。ただし、次の①、②に該当する人は除きます。

- ① 26年中の所得が給与所得だけで、年末調整が済んでいる人
- ② 26年分の所得税の確定申告書を提出した人

給与所得者で、職場から源泉徴収票をもらっている人でも、▼年末調整が済んでいない人▼給与以外に漁業、農業、不動産、土地の譲渡などの収入がある人―は申告が必要です。また、医療費控除を受ける人も申告が必要です。

申告の注意点

還付申告には源泉徴収票が必要です。紛失した人は、職場から再発行を受けてください。

農業や漁業などの所得は「収支計算」で計算します。収入と支出の証明書類がないと実際の所得よりも多く計算される場合があります。収支の分かる資料を必ず持参してください。また明細書は事前に整理し、円滑に受け付けができるようご協力をお願いします。

住宅ローン控除を受ける人は、源泉徴収票と年末残高証明書が必要です。初めて控除申告する人は、事前に担当課に連絡してください。地区巡回期間中は、役場に税務担当職員が不在のため、役場での申告は受け付けていません。他の地区で申告をしたい人は、前日ま

し引かれている人で昨年の申告で給与以外に所得がなかった人▼収入が年金収入のみと思われる人―には配布していません。ただし、給与や年金所得以外の収入があった場合は申告が必要です。申告書用紙は会場に準備していますので、忘れずに申告してください。

でに担当課に連絡してください。申告期間最後の3日間は毎年大変混雑します。早めの申告を心掛けましょう。不明な点は気軽に担当課に問い合わせてください。◆問い合わせ先：税務会計課（3412112 内線32）

村・県民税の特別徴収と事業所の一斉指定について

村・県民税の特別徴収とは、事業所が納税義務者である従業員の村・県民税を毎月給与から差し引いて市町村に納める制度です。

給与から所得税の源泉徴収を行う義務のある事業者は、特別徴収義務者として従業員の個人住民税を給与から徴収しなければなりません。実施していない事業者の皆さんは、積極的な取り組みをお願いします。

申告に必要なもの

- 村・県民税申告書、または所得税の確定申告書
- 印鑑
- 1年間の収支を記入した所得内訳書と関係する伝票、領収書、証明書など（自営業者）
- 源泉徴収票（給与所得者、年金受給者）
- 支払証明書（社会保険料、国民年金保険料、生命保険料、地震保険料など）
- 医療費の領収書、または証明書（医療費控除を受ける人。事前に支払合計額を計算してから申告してください）
- 預貯金通帳など口座番号が分かるもの（所得税の還付を受ける人。本人名義の口座に限ります）

申告相談所開設日程

月日	対象地区	場所	受付時間
2月6日(金)	田野畑	役場村民談話室	9:00~15:00 ※1
9日(月)	北山	地区総合センター	9:00~11:30
	机	拓心館	13:00~15:30
10日(火)	和野	地区公民館	9:00~11:30
12日(木)	島越	旧島越児童館	9:00~15:30 ※1
13日(金)	島越(黎明台団地のみ)		9:00~15:30 ※1
16日(月)	西和野、菅窪、中学校・高校・アズビィ仮設団地	アズビィ楽習センター ※2	9:00~15:30 ※1
17日(火)			
19日(木)	羅賀	羅賀コミュニティセンター ※2	9:00~15:30 ※1
20日(金)	羅賀(拓洋台団地のみ)		9:00~11:30
23日(月)	七滝	創心館	9:00~11:30
	猿山	地区集会所	13:00~15:30
24日(火)	巢合	地区公民館	9:00~11:30
	池名	地区公民館	13:00~14:30
26日(木)	浜岩泉	地区公民館	9:00~11:30
	真木沢	地区公民館	13:00~15:30
27日(金)	尾肝要	地区公民館	9:00~11:30
	板橋	地区公民館	13:00~14:30
3月2日(月)	切牛	望洋館	9:00~11:30
	大芦	大芦集会所	13:00~15:30
3日(火)	田代・萩牛	地区公民館	9:00~11:30
	千丈	地区公民館	13:00~14:30
5日(木)	甲地	地区公民館	9:00~11:30
	沼袋	青雲館	13:00~15:30
6日(金)	明戸	地区公民館	9:00~14:30 ※1
9日(月)			
10日(火)	全地区	役場村民サロン ※2	9:00~15:30 ※1
11日(水)			
12日(木)			
13日(金)	全地区	役場村民サロン ※2	9:00~15:00 ※1

※1 12:00~13:00は受け付けを行いません

※2 前年の会場から別の会場に変更になっています

三陸鉄道 南北リアス線が一本に JR山田線の運営受け入れ決定!

沿岸市町村首長会議は、東日本大震災で被災し運休が続くJR山田線の宮古一釜石間(55.4キロ)の運営移管について、JR東日本が示した案を受け入れることで合意しました。
これまで北と南に分かれていたリアス線は、今回の合意により久慈駅から盛駅(大船渡市)までの約160キロが一本の線路でつながります。

JR山田線受け入れまでの経緯

- ◆平成26年1月31日…山田線復興調整会議において、JR東日本が三陸鉄道による山田線の運営を提案
- ◆8月7日…沿岸市町村首長会議で、南北リアス線関係市町村を含む関係者間で、三陸鉄道による運営を「鉄道復旧に向けた有力な選択肢」とすることを確認
- ◆11月25日…第2回沿岸市町村首長会議でJR東日本の支援内容が提示され、年内に復旧方針を決めることを確認
- ◆12月24日…第3回沿岸市町村首長会議で、地元の総意としてJR東日本から提案のあった三陸鉄道による山田線の運営案の受け入れを決定

JR東日本の主な支援内容

- ◆山田線の持続的な経営のための支援や災害時および施設設備更新のための移管協力金(30億円)を負担する
- ◆被災した路線などはJR東日本が復旧改修工事を行う
- ◆運行に必要な車両を無償譲渡する
- ◆レールや枕木交換などの軌道強化、施設管理拠点などの整備を実施する
- ◆人的支援を行う
- ◆観光客誘致キャンペーンを行うなど、地域活性化や利用促進に協力する

三陸鉄道による運営メリット

- ◆地域の実情に応じたダイヤ設定が可能になる
- ◆運行一本化による直通運転などにより利用者利の便性が向上する
- ◆運営コストの縮減により、経営の持続可能性が高まる
- ◆南北リアス線で分かれている鉄道施設の集約により運営の効率化を図る
- ◆三陸沿線住民などにマイレール意識が醸成され、利用促進が期待される

「園児お絵かき遠足列車」の幼稚園や保育園などを対象に「園児お絵かき遠足列車」を開催しました。
33団体、682人の児童から応募があり、県三陸鉄道強化促進協議会長賞や各市町村長賞など11点が選ばれました。
村からは田野畑児童館の武井暁星君(6つ)が田野畑村長賞を受賞。武井君は「久慈市の巽山公園に遠足列車で行った時の絵です。みんなで描いて楽しかったです」と三鉄に乗った思い出を話してくれました。

「園児お絵かき遠足列車」村長賞は武井君が受賞



島越駅に飾られた受賞作など



村長賞を笑顔で受賞する武井君

「村教育のつどい」開催 203人が集い教育を考える

教育振興運動50周年

平成26年度「田野畑村教育のつどい」が1月18日、アズビィホールで開催され、PTA会員や学校教職員など203人が参加しました。

今年度は岩手県で教育振興運動が始まって50周年。開会で村教育振興運動推進協議会の熊谷勤己会長は「50年という節目の年を迎え、これまでの村の教育環境を立ち返り、これからの教育を考える機会を作りたい」との思いでパネルディスカッションなどを企画しました。参加者が何か一つでも心に留めてもらえるようにと願っています」とあいさつしました。

甲地自治会などを表彰



甲地自治会は吉塚さんが代表受領

表彰式では、長年にわたり甲地鹿踊りの伝承活動に取り組み、児童生

徒の健全育成に貢献した甲地自治会に功労賞、学業やスポーツで優秀な成績を挙げた田野畑中学校3年の金澤久美さんと熊谷百花さんに栄誉賞がそれぞれ贈呈されました。

各世代が村の教育を語る



ゲームやネット、テレビの問題点を指摘

パネルディスカッションでは「これまでの田野畑の教育、これからの田野畑の教育」と題して、各世代のパネリストおよび田野畑中学校の関向校長がPTA会員に向けてメッセージを送りました。
過去に村PTA連合会長やスポ少バレーボール部の指導経験がある銚形静さんは、自身の子どものスポ少体験から「子どもがスポ少で家族以外の大人と接するのは貴重な体験。親にとっても他の保護者との交流は

楽しくて重要な機会と紹介しました。関向校長は「子どもの幸せが家族や地域の幸せになり、住み続けたい村につながる。教育は人づくり、しっかりした人を作るためには良い習慣づけが大切。現代の親たちは子どもがゲームやネット、テレビとどう付き合っているかに注意して生活してほしい」と訴えました。

知的消費を楽しむ生活を

記念講演ではハンガリー出身の数学者で大道芸人のピーター・フランクルさんが「人生を楽しむ方程式」と題して講演。ピーターさんは「人を幸せにするのは過剰な物質的消費や金銭的な豊かさではない。幸せは、家族や友達と時間や空間を共有し、小説や芸術に触れ、みんなと知識を分かち合い『自分が主人公の人生』を楽しむこと」とし、知的消費に価値を置く生き方を提言しました。



ピーターさんは大道芸も披露

平成26年度 村教育振興運動表彰受賞者



【功労賞・団体】
甲地自治会
甲地鹿踊り保存会
(写真は保存会の吉塚令子さん)

長年、伝統芸能伝承活動として甲地鹿踊りを指導し、児童生徒の健全育成に貢献。村内行事にも積極的に参加し、他の模範となっている。



【栄誉賞・個人】
金澤久美さん
田野畑中3年・浜岩泉

わたしの主張下北地区大会で最優秀賞、同岩手県大会で優良賞を受賞するなど優秀な成績を収めた。



【栄誉賞・個人】
熊谷百花さん
田野畑中3年・羅賀

陸上競技中学校3年生女子800m県中総大会2位、同東北大会4位および全国大会に出場し、村陸上競技に顕著な功績を挙げた。



冷たい風が吹く中、船上で31人の観光客の皆さんが日の出を待ちました

元旦に初日の出クルーズを満喫

北山崎断崖クルーズ観光船が1月1日、初日の出号を運行しました。
初日の出号は島之越漁港を午前6時30分に出港し、弁天島を沖から参拝した後、松島沖で初日の出を待ちました。当日、水平線が厚い雲に覆われ、初日の出を見ることはできませんでしたが、乗船した滝口政敏さん(61)＝岩手町＝は「年越しをホテル羅賀荘で迎えました。初日の出が見られず少し残念でしたがいい思い出になりました。また来たいです」と笑顔で語ってくれました。

初売りで水産関係者が大漁祈願

村漁業協同組合の平成27年初売りが1月5日、島之越漁港で行われ、早朝の漁港に水揚げされたサケやスルメイカ、タコなどが初売りに掛けられました。
中村芳正組合長は「今年は1年通して大漁で漁業者の生活が良くなるようにしていきたい」と抱負を語りました。
昨年のサケ漁は、漁協自営定置網が操業したものの、全体的に不漁となり、村全体の漁獲量は344トン。対前年比102%にとどまりました。



鈴木隆昭(たかあき)村議会議長の音頭で三本締めを行い、安全と大漁を祈願

北山地区で特殊詐欺など学ぶ

村駐在所連絡協議会と岩泉警察署田野畑駐在所では、1月10日「110番の日」に合わせて、北山地区総合センターで地域安全集会を開催しました。集会では平成26年に県内で約4億円の被害のあった振り込み詐欺などの特殊詐欺や昨年村内で死亡事故が発生した交通安全について学びました。
参加した北田美代さん(75)＝北山＝は「特殊詐欺などわからないことが聞けてためになりました。詐欺にだまされないよう注意して生活します」と被害防止を誓いました。



22名の参加者が詐欺防止、地域安全について学びました



平成27～31年度の地域づくり計画策定に向けて、多くの住民が参加しました

地域づくり大学たのはた校開校

平成21年度に村内6地区ごとに作成した地域づくり計画。今年度で5カ年の計画期間が満了になることから、村では、岩手県立大学の協力を受けて「岩手地域づくり大学・たのはた校」を開校し、次期計画の策定支援を始めました。
昨年12月20日の開校式では、会場のアズビィ楽習センターに約40人の村民が集まり、現計画の進捗状況などを確認。地区ごとに今後の地域づくりに向けた基本方針や、具体的な事業計画を策定することになります。



和風な外観の田野畑駅。ミズキ団子などの正月飾りが見事に調和

ミズキ団子で三鉄の乗客増を祈る

1月11日、田野畑駅でカンパネラ友の会(宮森秀幸会長 会員42人)がみずき団子づくりを行いました。
田野畑駅には会員など12人が集まり、赤や緑の団子を作りミズキに差して駅舎前やホームに飾りました。
宮森会長は「今年はミズキも3段で団子の色も良く、きれいにできました。たくさん観光客が訪れるように、また地元の人々の利用が増えるように祈願しました」と団子を食べながら笑顔で語ってくれました。

高台移転地造成など完成を祝う

東日本大震災で住宅を被災した人の高台移転地および災害公営住宅の完成記念式典が1月17日、ホテル羅賀荘で開催されました。式典には移転地の用地提供者など関係者約70人が出席。震災復興には欠かせない被災者の住宅再建に一定のめどがついたことを祝いました。
高校仮設団地代表の畠山忠男さん(71)は「震災前の一体感を取り戻せるかが地域の課題。不安もあるが地元で活気が戻ることを期待しています」と語ってくれました。



災害公営住宅などの完成を祝って、鏡開きをする仮設住宅代表者など

広報クイズ

問題の答えをはがきを書いて、役場政策推進課(2月20日まで)にお送りください。正解者の中から抽選で1名様にプレゼントが当たります。

- Q1 教育のついでで講演したのは?
 A) ピーター・バラカン
 B) ピーター・フランクル
 C) 池畑 慎之介
- Q2 三陸鉄道と山田線が繋がると総延長約何キロに?
 A) 約 55.4 km
 B) 約 200.0 km
 C) 約 160.0 km

■前号(1月号)の正解
 Q1→B、Q2→A

■先月当選者
 応募件数3件、全員正解でした。厳正なる抽選の結果、熊谷正初さん(田野畑)が当選。プレゼントはタオルなど5点セットです。みなさん、ぜひ感想を添えてご応募ください。

おめでた おくやみ

[平成26年12月届け出分]

(一部敬称略)

- 健やかに ～誕生～**
 高橋 和希(かずき)くん
 信行・麻衣 田野畑
 熊谷 一真(いっしん)くん
 亨・梨那 尾肝要
- ♥**未永く ～結婚～**
 佐々木 勇人 尾肝要 ♥尾肝要
 成田 久美子 秋田県

■安らかに ～お悔やみ～

- 中村 岩男(80) 羅 賀
 坂本 定次郎(80) 田野畑
 向井 友治郎(85) 机

※この欄に掲載してほしくない人は、届け出のとき、戸籍係の窓口にお申し出ください



友好都市の埼玉県深谷市の江原菊枝さん(84)から村スポーツ少年団員に手編みの靴下をいただきました。みんな「カワイイ!」と大喜び。



司会はルー大柴さんと江口ともみさん。物産PRの早採りワカメを絶賛してくれました。

「田野畑むらづくり基金」への寄付状況

(1月20日現在)

寄付金総額	3630万9760円 612件(村内119件、県内156件、県外337件)
取り崩し額	359万0000円
基金残額 (運用益を含む)	3276万3938円

「田野畑むらづくり基金」の申し込み・問い合わせは、村ホームページをご覧ください。総務課(☎34-2111内線15)までご連絡ください。

役立ちカレンダー

期間: 2月2日(月)～3月2日(月)

月日	行事	場所	時間	問い合わせ先
2月2日(月)	介護保険料8期、後期高齢者医療保険料7期納期限			生活環境課(内線21)
	村民税4期・国民健康保険税8期納期限			税務会計課(内線32)
	アズビ健康スポーツ教室「卓球・ソフトバレー教室」	アズビ体育館(毎週月曜日)	20:00～21:00	教育委員会
4日(水)	アズビ健康スポーツ教室「バトミントン教室」	アズビ体育館(18日、25日も開催)	20:00～21:00	教育委員会
6日(金)	アズビ健康スポーツ教室「フットサル教室」	アズビ体育館(毎週月曜日)	19:00～21:00	教育委員会
7日(土)	診療所休診			
18日(水)	幼児健診	健診センター	13:00～15:30	保健福祉課(☎33-3102内線54)
19日(木)	あすからの暮らし相談会	保健センター	13:00～15:00	保健福祉課(☎33-3102内線50)
3月1日(日)	春季全国火災予防運動(1日～7日まで)	全村対象		田野畑分署(☎34-2100)
2日(月)	後期高齢者医療保険料8期納期限			生活環境課(内線21)
	固定資産税4期			税務会計課(内線34)

役場☎34-2111 / 教育委員会☎34-2226 / 医科診療所☎33-3101 / 歯科診療所☎33-3100 / 保健福祉課☎33-3102

はまなす号巡回カレンダー



◆はまぎくコース(机・北山方面)

月日	場所	時間
2月18日(水)	グループホームつくえ付近	9:40～10:00
	北山地区総合センター	10:10～10:25

◆たんぼぼコース(真木沢・切牛方面)

月日	場所	時間
2月18日(水)	佐藤進氏宅付近	11:05～11:20
	望洋館	11:30～11:45

◆おきなぐさコース(沼袋・甲地方)

月日	場所	時間
2月19日(木)	産直プラザ尾肝要	9:45～10:00
	山栄会リアス倶楽部付近	10:10～10:30
	甲地公民館	10:40～11:00
	沼袋郵便局	11:10～11:30

◆問い合わせ先…教育委員会(☎34-2226)

編集こぼれ話

県ふるさとM大賞を受賞したので、1月24日、東北ふるさとMフェスティバルに出演してきました。2月21日午後4時から東北6県のテレビ朝日系列で放送予定です。私は緊張でボロボロですがぜひご覧ください(健)

お知らせ

参加者などを募集中

知 いろいろなお知らせ

人口と世帯

1月1日現在()は前月比
 人口 3,675人(-5)
 男 1,825人(-5)
 女 1,850人(-0)
 世帯 1,439世帯(+3)

火災

(12月21日～1月20日)
 火災の【今月】0件
 発生件数【今年】0件
 無火災の連続記録
 (1月20日現在) 42日

知 役場庁舎工事のため受付窓口などが一時的に移転します

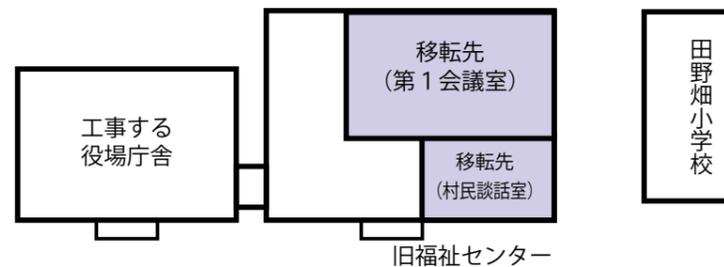
役場庁舎の大規模な電気工事のため、住民票交付窓口などが現在の役場庁舎から隣(田野畑小学校寄り)の旧福祉センター1階へ一時的に移転します。工事は庁舎1階と2階をそれぞれ別の日程で実施します。各課に用事のある人は、移転場所を確認してから来庁してください。

◆工事期間

- ①役場2階(建設第1課、建設第2課)…2月9日(月)～20日(金)
 ②役場1階(総務課、政策推進課、復興対策課、税務会計課、生活環境課)…3月2日(月)～3月13日(金)

◆移転場所…役場旧福祉センター1階(第1会議室および村民談話室)

◆問い合わせ先…総務課(☎34-2111 内線12)



募 寿生会で職員を募集

社会福祉法人寿生会では、次のとおり職員を募集しています。

- ◆職種・人数…介護職・2人(正職員。希望によりパートも可)
 ◆採用期日…随時
 ◆必要資格…普通自動車運転免許(職務に必要な資格は働きながら挑戦できます)。学歴・年齢は不問
 ◆給与…月給制136,800円(経歴等により多少の変動があります)パートは時給800円～
 ※昇給年1回、賞与年2回
 ◆加入保険…雇用、労災、健康、厚生、退職共済
 ◆各種手当…扶養、通勤、住宅
 ◆応募方法…詳しくは電話で問い合わせてください
 ◆応募・問い合わせ先…社会福祉法人寿生会(☎33-3221)
 担当: 佐々木、中机

知 「食の匠の技」公開講座開催

宮古地方の岩手県「食の匠」認定料理およびその技の公開講座を開催します。

- ◆日時…2月24日(火) 午前10時30分～午後1時30分
 ◆場所…宮古地区合同庁舎2階 栄養相談室
 ◆講師・料理
 ①神楽栄子・麦ぞうすい
 ②盛合三礼子・ピーマンみそ
 ◆参加料…1人1,000円(材料代)
 ◆定員…15名(先着順)
 ◆申し込み受付開始…2月5日(木)
 ◆問い合わせ先…宮古農業改良普及センター(☎0193-64-2220)

県各種商品小売業最低賃金などが改正されています

◆問い合わせ先…岩手労働局(☎019-604-3008)

知 特定不妊治療費を助成

村は、不妊治療の経済的な負担軽減のため、医療保険適用外の特定不妊治療(体外受精及び顕微授精)を受けた夫婦に対し、治療費の一部を助成しています。

- ◆対象者…県特定不妊治療費助成事業の助成を受けた夫婦
 ◆助成額…夫婦1組1回あたり15万円を限度として助成
 ◆助成期間…夫婦1組1年度目は年3回、2年度目以降は年2回まで、通算5年度10回を限度とする。
 平成26年度以後新たに特定不妊治療の助成を受ける場合は、6回を限度とし、治療期間初日の妻の年齢が40歳未満のときは年度あたりの助成回数および通算期間を制限しない。
 ◆申請方法…県助成事業の交付決定通知書と交付決定指令書が届いてから1ヶ月以内に申請
 ◆申請に必要な書類…①特定不妊治療に係る領収書②住民票③県助成事業の交付決定通知書と交付決定指令書
 ◆申請・問い合わせ先…生活環境課(☎34-2114 内線25)

募 予備自衛官補を募集します

- ◆受験資格
 ①一般…18歳以上34歳未満
 ②技能…18歳以上53歳未満
 ◆試験日…4月10日(金)～14日(火)のうち指定する1日
 ◆試験場…岩手駐屯地(滝沢市)
 ◆受付期間…1月8日(木)～3月24日(火)
 ◆申し込み・問い合わせ先…自衛隊宮古地域事務所(☎0193-63-3881)

平成26年度一般会計補正予算8億9465万8千円を増額し、
予算総額を160億5856万5千円に

12月定例会は、12月17日から19日の3日間の会期（18日を議案思考日として休会）で開かれました。定例会初日に一般質問を行い、菊地大議員、中村勝明議員の2名が登壇し村の姿勢を質問。19日は村長から提出された報告1件、議案20件を審議し、原案どおり可決し、追加で人権擁護委員の諮問1件、田野畑村固定資産評価審査委員の同意案2件が審議され、3件とも同意され閉会しました。

※村議会だよりは広報編集委員会（委員長・中村勝明議員）で編集したものです

議決した議案等

【報告第1号】

●鳥越駅前広場整備事業(その2)
工事の変更請負契約に関する専決処分の報告について

工事請負契約を83万5千920円増額し総額を1億5311万5千920円とするもの。
・受注者 佐藤建設㈱

【議案】

●負担付の寄付を受けることに関する議決を求めることについて
三陸鉄道㈱より、三陸沿岸地域における交通の利便性確保と地域振興に資する観点から、鉄道旅客輸送を維持するため、建物（田野畑駅・鳥越駅）、路線設備等の鉄道施設について、負担付寄付の申込みがあり、寄付条件として寄



改良工事が進む羅賀地区の村道田野畑平井賀線

●一般会計補正予算(第12号)
主なものは次のとおり。
・東日本大震災復興交付金基金積立金
8億5630万6千円追加
・生活再建住宅支援金
1580万円追加
・臨時福祉給付金
1065万円減額
・観光振興施設修繕工事
5432万4千円計上
・主要作物ブランド化推進事業補助金減額
240万円減額
・菌床椎茸安定生産対策事業補助金等減額
624万8千円減額
・道路除雪業務委託料
2000万円追加
・村道関係登記委託料など
1230万円減額
・村道関係等工事費
3238万3千円減額
・埋蔵文化財発掘調査関係委託料などの事業費
316万9千円減額

●国民健康保険特別会計補正予算(第5号)
事業勘定予算を122万2千円減額し、総額を6億1519万円とし、直営診療施設勘定予算を46万4千円減額し総額1億382万4千円とする内容。主なものは次のとおり。
・職員給与・手当など
231万1千円減額
●簡易水道特別会計補正予算(第4号)
7万6千円を減額し12億6825万2千円とする内容。主なものは次のとおり。
・施設管理費
7万6千円減額
●集落排水特別会計補正予算(7号)
142万8千円追加し総額を6億2475万2千円とする内容。主なものは次のとおり。
・平井賀漁港地区漁業集落排水処理施設放流水適正化業務等委託料など
346万5千円追加

付財産を鉄道事業に使用するため、村が無償で貸与することとしてこの申し込みを受けようとするもの。
●財産の貸し付けに関する議決を求めることについて
先の三陸鉄道㈱から寄付を受けた施設等について鉄道事業施設として無償貸付しようとするもの。

●平井賀漁港地区水産飲雑用水施設(田野畑浄水系)連絡管布設工事(第1工区)の請負契約締結に関する議決を求めることについて
・工事請負契約金額5022万円
・受注者 扶桑建設工業㈱仙台支店
●村道明戸北山線道路改良舗装(その2)工事の請負契約の締結に関する議決を求めることについて
・工事請負契約金額8802万円
・受注者 佐藤建設㈱
●鳥越コミュニティセンター建設工事の請負契約の締結に関する議決を求めることについて
・工事請負契約金額1億6416万円
・受注者 ㈱小山組
●田野畑村中央防災センターの設置及び管理に関する条例の制定
・田野畑村中央防災センターの設置及び管理について必要な事項

を定めるもの。
●一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定
一般職の職員の給料表等について所要の改正をするもの。
●国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定
健康保険法施行令の一部改正により、出産育児一時金の支給額について所要の改定をしようとするもの。
●田野畑村社会教育委員設置条例の一部を改正する条例の制定
地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行による社会教育法の一部改正に伴い社会教育の資格及び定数等の基準等について所要の改正をするもの。
●田野畑村村営住宅の一部を改正する条例の制定
・田野畑地区に整備している災害公営住宅を買取り、村営住宅拓洋台団地として供用開始することに伴い所要の改正をするもの。

●漁業集落排水管路及び公共ます整備など工事請負費
150万円追加
・手数料
346万7千円減額
●介護保険特別会計補正予算(第4号)
事業勘定予算に784万3千円を追加し、総額を5億1712万円とする内容。主なものは次のとおり。
・住宅介護サービス給付費
190万円追加
・地域密着型介護サービス給付費
450万円追加
・地域密着型介護予防サービス給付費
130万円追加
●後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
287万3千円を追加して総額を3509万6千円とする内容。主なものは次のとおり。
・岩手県後期高齢者医療広域連合納付金
287万3千円追加

●人権擁護委員候補者の推薦に関する意見を求めることについて
・向川原巖委員が平成26年12月31日をもって任期満了となることから、堀川孝男氏を人権擁護委

員の候補者として推薦しようとするもの。
【同意案】
●田野畑村固定資産評価審査委員会委員の選任に同意を求めることについて
・戸由孝子委員が平成26年12月21日をもって任期満了となることから、同氏を適任と認め、田野畑村固定資産評価審査委員会委員に選任しようとするもの。
●田野畑村固定資産評価審査委員会委員の選任に同意を求めることについて
・畠山守委員が平成26年12月21日をもって任期満了となることから、渡部東氏を適任と認め、田野畑村固定資産評価審査委員会委員に選任しようとするもの。

●人権擁護委員候補者の推薦に関する意見を求めることについて
・向川原巖委員が平成26年12月31日をもって任期満了となることから、堀川孝男氏を人権擁護委

員の候補者として推薦しようとするもの。
【諮問】
●人権擁護委員候補者の推薦に関する意見を求めることについて
・向川原巖委員が平成26年12月31日をもって任期満了となることから、堀川孝男氏を人権擁護委

一般質問



議員 菊地大

〔質問〕 村政運営について、村長に伺います。復興を進めるに当た

り再開事業が続々と
増え嬉しい限りで
すが、そのことに
より役場職員へ
の負担も大きい
と感じています。

役場職員体制につ
いて業務内容から
見ても不十分と把握
するが村長の見解を聞き
たい。

〔村長〕 役場内の職員体制です
が、東日本大震災から復興関連事
業の増大により、予算額が数倍
となっております。これに加え
通常業務におきましても制度の
複雑化や専門性が求められる業
務等も増加する傾向にあります。
他自治体からの派遣職員と任期
付職員を採用して業務を推進し
ております。行財政改革等により
職員数の計画的な削減に努めて
きましたが、今後は職員の新規採
用増や再任用制度などの運用等
により、業務量などを勘案しなが
ら必要な職員の確保と配置に努
めて参りたい。

〔質問〕 第三セクター羅賀荘の
運営について伺います。今季観光
シーズンも終盤を迎え、三陸鉄道
の再開や観光船の再開で大きな

あること等を基本に据えて、物産
販売プラス田野畑村の独自性を具
現化する考えです。その基本にあ
るものは、第一次産業を基軸と
し、二次産業、三次産業の連動と
強化と有機性と発展性でありま
す。次代につながるリーディング
プロジェクトとして、展開と柔軟
性などを加味しながら取り組ん
でいく所存です。東日本大震災・大
津波によって、尊い命と財産を失
い、放心状態のまま闇に迷い込ん
だ感がありました。災害に負け
ず、この自然の猛威を新しい地域
づくりの始まりと捉え、田野畑村
の持っている食材のポテンシャル
を生かした食のブランド化を進め

動きがあった年と感じています。
この時をチャンスに債務超過の解
消に努め、先を見越した経営体制
を築けると感じますが、集客状況
や経営状況はどうであったか伺
いたい。

〔村長〕 集客状況につきまして
は、昨年から続くあまちゃん人気
や4月の三陸鉄道全線開通効果に
加え、秋にエージェントとの大口
団体集客、小口のリピーター掘り
起こしなどにより営業も堅調に推
移しています。経営内容は、売り
上げが計画をやや上回る形で順調
に推移しており、今期の目標売上
額を今のところ達成できる見通し
となっております。第46期中間期に
おいても原価率が異常に高い点の
改善を図ったところであり、今後
においても、引き続き営業コスト
の削減に努めて参りたい。

〔質問〕 放課後児童クラブに関し
て伺います。平成27年度からの子
ども・子育て支援新制度が始まる
が、本村における体制について、
具体的な進捗状況を伺いたい。

〔村長〕 来年4月からスタートす
る「子ども・子育て支援新制度」
の中に「放課後児童健全育成事
業」いわゆる「放課後児童クラブ」
も含まれております。対象者につ

るなど、地域の総合力を結集し挑
戦してまいる所存です。

〔質問〕 消費税の増税についてで
すが、先日岩手日報の報道で、県
内首長の消費税に関する賛成反対
のコメントが出されました。石原
村長は消費税10%増税に対して賛
成と報道されました。先月11月25
日の村議会では、消費税10%増税
の中止を求める意見書が全議員賛
成で可決されました。村長の消費
税増税に賛成のコメントを出した
ことで、多くの村民から怒りの声
が強まっている。今でもその態度
が変わりはないか。村民の前に明
確にして欲しい。

〔村長〕 これまで国会での審議に
おいては、基礎的財政収支（ブラ
イマリーバランス）の赤字を解消
し、黒字化を達成する財政再建、
財政規律を踏まえた諸議論が交わ
され、財政と税に関する方針が定
められたことはご周知のとおりで
す。今後、社会保障等の福祉関連
予算の増大が懸念されることに伴
い、福祉予算に特化した財源確保
として、消費税アップが必要であ
るとの方向性には一定の理解を示
すとの見解を述べたものです。経
済指標を踏まえた消費税10%アッ
プについては、1年半延期する判

いては現在、小学1年生から3年
生となりますが、新制度では、小
学1年生から6年生まで拡大され
ます。また、条件としては、保護
者が就労等により昼間いない家庭
で小学校に就学している児童・生
徒の希望者に対し、授業終了後に
小学校の余裕教室や児童館等を利用
して適切な遊び及び生活の場を
与えて、健全な育成を図る事業で
あります。現在アズビエホールの
会議室を活用して実施しておりま
す。来年度からは旧保健センター
に場所を移し、公共施設スペース
の有効活用を図る考えです。希望
者の募集については、1月早々に
行ないたいと考えています。



中村 勝明議長

〔質問〕 石原村長は、当選後初登
庁の8月21日、職員を大事にし、
村政の主役である村民と一緒に役
場を機能させていくと強調。震災
の後の復興を進め、過疎に歯止め
をかけること提起。そして1年4ヶ
月を経た今、村民が主役の村政運

断となったことはご案内のとおり
です。日本経済や地域経済に及ぼ
す影響等は実情と諸条件等を考慮
すべき点があると認識しておりま
す。よって11月25日の臨時議会で
可決された。意見書に反する見解
ではないことをご理解賜りたいと
存じます。

〔質問〕 産業振興対策ですが、東
日本大震災を機に漁業者の減少、
就業者確保の問題は、特に被災市
町村の大きな課題です。この担
い手対策について、村長は「非常
に重要な課題と位置付けており漁
業協同組合ともしっかりとした協
議を強めたい」との考えを先の定
例会で示されました。特に養殖漁
業者の減少は新規就業者を上回る
数で減っている訳であり、どう検
討しているのか改めて答弁をいた
だきたい。宮古市では、漁業者就
業育成協議会を設立していると聞
くが、村の考えはどうでしょうか。

〔村長〕 平成24年度から国の制度
である「漁業復興担い手確保支援
事業」により漁業者及び養殖漁業
者の減少対策に取り組んでおりま
す。平成26年度からは、平成28年
度までの3年間「頑張る漁業復興
事業」により、漁業者の減少対策
に取り組んでいくところでありま

営と過疎に歯止めをかけるために
どういった具体案を新年度予算に
提案する考えなのか、自らの抱負
と決意をお示し願いたい。

〔村長〕 新年度予算編成の基本方
針については、通常の予算見積も
り方針に人口減少問題対策を加え
るとともに「復興」を進めながら
も「人づくり」などをはじめとす
るソフト事業も重点に据えて編成
する考えです。11月6日の第1回
政策提言諮問会議における人口減
少問題についての審議の過程にお
いて、予算に反映すべき項目設定
と方向性等を明確にすべきとの意
見を踏まえ、第2回の会議では直
接的な対策、間接的な対策の2項
目を審議いただく予定となってい
ます。村民の実質的な参加によつ
て、誰のため、何のための事業な
のかなど、村民の「思い」を積み
上げていくことが喫要であると思
えます。その一つとして復興道路
に隣接した新しい道の駅構想があ
ります。新たな道の駅の整備にあ
たっては、官民連携のもとにコン
セプトや運営など、その基本整備
の素案段階から検討する段取りで
取り進めているところです。新た
な道の駅は村の「核」となるもの
であり、村民と観光客との交流、
村民の居場所づくりなどの役割が

す。また、村としても震災以降
は、養殖漁業者に対する支援策と
して、わかめ漁獲共済掛金の経費
ついて50%の助成を行い、水産物
の価格低迷による漁業者の再生産
意欲の確保と養殖漁業経営の安定
化を図っているところです。震災
からの復興は、地域に元気を取り
戻し、地域を変えていこうとする
担い手となる若人・関係者等の気
運の高まりが重要です。今後にお
きましても、これら制度の利用や
要望等を踏まえながら、魅力と活
力に満ちた農林漁村づくりを検討
して参りたいと考えております。

発議案2件可決

最終日の12月19日、追加議案と
して議員による発議案が2件提出
され、可決されました。

1件目の内容は「米価安定対策
等に関する意見書」で提出者は
佐々木芳利議員、賛成者は、佐々
木功夫議員、小松山久男議員です。
2件目の内容は「医療費助成制度
の現物給付導入を求める意見書」
で提出者は中村勝明議員、賛成者
は、菊地大議員、宮森鋭幸議員で
す。



観光施設修繕工事が行われるホテル羅賀荘



佐々木 ^{しょうま}翔真さん(21)=北山=

★お仕事は？

ホテル羅賀荘の施設管理課で主に大浴場の清掃をしています。洗面台や金属に付いた水垢などしっかり落とすことに神経を使って清掃しています。

★今、頑張っていることは？

今は仕事をがんばっています。客室の片付けなども手伝いますが、お客様のチェックインもあるので時間との勝負ですね。

★休日は何をしていますか？

模型づくりが好きですが、最近はミニ四駆に関心を持って作り込んでいます。工具など出費もかかりますが夢中になれます。

★理想の女性のタイプは？

う〜ん…。特に、まだ、ないですね。まだ若いのでおいしい、家庭のことなども考えてみたいです。

★最後に一言お願いします！

ホテル羅賀荘のお風呂で疲れやストレスから体を解放していただければと思います。ぜひリラックスしにご家族やお仲間ご利用ください。

わが家の
アイドル



小松山 ^{すずか}涼楓ちゃん(2歳1カ月)
博史さん・昌子さん=机=

お母さんからのひとこと

気が強くていろいろなことに興味を示す、いたずらが大好きな“すず”。

思いやりと優しさを大切に、明るく元気いっぱい成長してね。



▼東日本大震災・津波で受けた悲しみや怒りを創造の力に変え、地域創生は自らの手によって成すという意気込みで共に歩んでいきたいと思います。



1月10日の村交賀会には約200人の村民が参加

▼幼少の頃から小正月にはミズキに鯛をかたどったラクガンや丸い団子を飾り、大漁や家内安全を祈願していました。当時、私の家の隣りには製菓店があり、ラクガンづくりの型を返す音が相撲の拍子木のように小気味よく響いていました。時にその音は「一緒に頑張ろう」「元気を出していこう」という応援の拍子木にも聞こえたものです。今でもあの音は耳に残り、製菓作業をする隣人の姿が小正月の思い出として記憶されています。

▼村新年交賀会にはホテル羅賀荘5階の会場を埋め尽くすほどの参加をいただき、心より感謝申し上げます。皆さんの席でお話いただいた言葉をしっかりと村政に生かせるように取り進めて参ります。今年も地域を廻り一人一人の意見を聞くことを基本姿勢とし、意見しやすい環境作りをモットーに村民目線の行政運営に努め、笑顔あふれる村にするよう努めて参ります。



石原弘の
村長コラム ⑤